

墨田区のお知らせ

No.2085

2023年(令和5年) 10/11

毎月1日・11日・21日発行

- ◆2面以降の主な内容
- 2・3面……教育委員等
- 3・6～8面…講座・教室・催し
- 4・5面……区報ジュニアレポーター企画



墨田区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

発行：墨田区(広報広聴担当) ☎5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

<https://www.city.sumida.lg.jp/>



今号の特集(4・5面)は、区内の中学生が2つのチームに分かれ、テーマを考え、取材・編集をしました。区民の皆さんをはじめ、多くの方に知ってもらいたいという気持ちで、精魂込めて作成した力作です。ぜひ、ご覧ください。
 [問合せ] 広報広聴担当 ☎5608-6223

区報ジュニアレポーター

テーマを考えて

取材に行っ

紙面を編集して

チーム江戸

すみだには多くの職人がいて、様々な伝統工芸を受け継いでいますが、その中でも「江戸切子」をご存じですか。江戸文化が残るすみだにちなんだチーム名の私たちは、江戸切子を制作する「すみだ江戸切子館」取材しました。実際に私たちも、江戸切子の制作を体験しながら、職人の技術や想いをたっぷり伺ったので、皆さんに精一杯お伝えします。

チーム水球

世界的な浮世絵師「葛飾北斎」が、すみだで生まれ、生涯のほとんどを区内で過ごしたことをご存じですか。北斎が手掛けた日本の風景画が、今も世界を魅了し続けています。私たちは北斎の魅力を伝えるべく、すみだ北斎美術館取材しました。私たちが作った区報が、区民の皆さんに早く読んでもらえると考えるだけで、とてもワクワクします。ぜひ、ご覧ください。

[記事作成] (写真左から) 神田未有さん、徳野有理さん、関智仁さん

4面へ

[記事作成] (写真左から) 木村友哉さん、宮下恵太さん、下山田芽生さん

5面へ



エスディーエスエス SDGs(持続可能な開発目標)は、私たちがこの地球で暮らし続けていくために、2030年(令和12年)までに達成をめざす世界共通の17の目標です。本区は「SDGs未来都市」として、持続可能で幸せなまちづくりを着実に進めています。

 就任しました
教育委員


9月29日に開かれた令和5年度墨田区議会定例会9月議会本会議で、小山 勉氏の教育委員の任命について同意が得られ、10月1日付けで区長から任命されました。

【問合せ】庶務課庶務・教職員担当 ☎5608-6301

 10月16日～22日は行政相談週間
行政相談制度

国に対する苦情や要望を、総務大臣から委嘱された行政相談委員が受け付けます。

【とき】毎月第1火曜日午後1時～4時 **【ところ】**すみだ区民相談室(区役所1階) **【問合せ】**すみだ区民相談室 ☎5608-1616 *総務省行政相談センター「きくみみ東京」☎0570-090110 (IP電話からは☎3363-1100)でも相談可

 クレジットカード決済が利用できます
郵送請求手数料(住民票・戸籍等)のキャッシュレス化

住民票・戸籍等の郵送請求の手数料の支払いに、専用サイトからクレジットカード決済が利用できます(午前3時～5時はシステムメンテナンスのため利用不可)。定額小為替の準備や現金書留での郵送が不要になりますので、ぜひ、ご利用ください。

なお、郵送料はクレジットカード決済の対象外です。利用方法等の詳細は専用サイトをご覧ください。

【問合せ】窓口課証明係 ☎5608-6104

 更新手続きをお忘れなく
大気汚染医療費助成制度

大気汚染医療費助成の医療券をお持ちの方へ、更新申請に必要な書類を、有効期間満了日の2か月前の月末までに郵送します。引き続き助成を希望する場合は、有効期間満了日の1か月前までに申請してください。書類が届かない場合は、お問い合わせください。

なお、平成27年4月1日から、制度改正により新規認定の対象となる年齢が17歳以下になりましたので、ご注意ください。

【申請書提出先】▶保健計画課保健計画担当(区役所5階) ▶向島保健センター(東向島5-16-2) ▶本所保健センター(東駒形1-6-4) **【問合せ】**保健計画課保健計画担当 ☎5608-6190

 65歳～74歳で一定の障害がある方へ
後期高齢者医療制度

65歳～74歳で一定の障害がある方は、希望により後期高齢者医療制度に加入できます。申請には障害の状態が分かる書類が必要です。手続等の詳細はお問い合わせください。

【対象】次のいずれかを保有または受給している方▶身体障害者手帳1級～3級または4級のうち下肢障害1・3・4号、音声・言語機能障害▶愛の手帳1・2度▶精神障害者保健福祉手帳1・2級▶障害年金1・2級 **【問合せ】**国保年金課長寿医療(後期高齢者医療)資格・給付担当 ☎5608-6192

 ご確認ください
児童手当・児童育成手当

児童手当・児童育成手当の10月期分(6月分～9月分)を、指定の口座に振り込みました。振り込みの通知は個別に行いませんので、通帳記帳などでご確認ください。申請や変更の届出日によっては、審査手続等のため、振り込みが遅れる場合があります。また、児童手当を受給している一部の方と育成手当を受給している方は、6月に送付した現況届と関連書類の提出がないと、手当が受給できません。提出がないと受給資格を失うことがありますので、至急ご提出ください。詳細は問い合わせるか、区ホームページをご覧ください。

【提出先・問合せ】子育て支援課児童手当・医療助成係(区役所4階) ☎5608-6160

 ご存じですか
児童扶養手当

児童扶養手当は、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進、児童福祉の増進を図ることを目的に支給される手当です。受給には申請が必要です。詳細は問い合わせるか、区ホームページをご覧ください。

【対象】次のいずれかに該当する18歳の誕生日を迎えたあとの3月末までの児童(心身に中度以上の障害がある場合は20歳未満の児童)を養育している父親・母親または養育者▶父母が離婚している▶父または母が死亡した、または生死不明である▶父または母に重度の障害がある(身体障害者手帳1・2級程度)▶父または母に1年以上遺棄されている▶父または母が1年以上拘禁されている▶父または母が保護命令を受けている▶婚姻によらないで生まれた **【問合せ】**子育て支援課児童手当・医療助成係 ☎5608-6376

 申請期限は11月30日まで
子どもの学び応援事業

対象児童1人につき1万円分の図書カードNEXT(ネットギフト)等を配布しています。対象の子どもに申請のご案内を送付しましたので、申請期限までにお申し込みください。

【申請期限】11月30日 **【問合せ】**▶コールセンター ☎5577-4000 *受け付けは月曜日～金曜日の午前9時半～午後6時(祝日を除く)▶子育て支援課児童手当・医療助成係 ☎5608-6376 *詳細は区ホームページを参照

 10月以降も受け付けています
新型コロナウイルス感染症の電話相談と抗原キットの配布


発熱などの症状の相談を10月以降もコールセンターで受け付けています。また、区内の対象薬局では、有症状者・感染者と接触した方を対象に抗原定性検査キットを無料配布しています。詳細は区ホームページをご覧ください。

【電話相談先】かかりつけ医が▶いる場合=電話でかかりつけ医へ▶いない場合=墨田区発熱・コロナ相談センター☎5608-1443 *受け付けは月曜日～金曜日の午前9時～午後5時(祝日を除く) *感染症による不安やストレスなども相談可 **【問合せ】**保健予防課感染症係 ☎5608-6191

 マンションの建設や改修の計画がある方へ
すみだ良質な集合住宅認定制度

集合住宅の居住に関する様々な機能について、ハード・ソフト両面に特に配慮された集合住宅を、「すみだ良質な集合住宅」として認定し、さらに高度な機能を整備した場合に整備費の補助を行っています。詳細は区ホームページをご覧ください。

【対象】分譲、賃貸、規模を問わず、新築または既存の集合住宅で住宅性能表示等に係る区の認定基準に適合しているもの *ほかにも要件あり **【補助内容】**▶整備費補助(子育て型)=機能整備費、キッズルーム整備費、プレイロット整備費、誘導面積住戸整備費▶整備費補助(防災型)=機能整備費、高度耐震・免震性能整備費、動力用自家発電機整備費▶居住者向け補助=居住者間自主活動経費 **【問合せ】**住宅課計画担当 ☎5608-6215

 徴収が免除されます
学校給食費徴収免除・私立学校就学者等支援事業

10月分以降の区立小・中学校の給食費は、徴収が免除されます(手続不要)。

また、私立・都立・国立・各種学校・区域外の小・中学校に通う児童生徒には3万円の支援金を支給します。10月1日時点で墨田区に住民登録があることが要件となり、対象者には申請書を送付します。詳細はお問い合わせください。

【問合せ】学務課給食保健・就学相談担当 ☎5608-6304

 職場で新型コロナウイルスに感染した方へ
労災保険の給付

業務で新型コロナウイルスに感染した場合、労災保険給付(療養補償給付、休業補償給付等)の対象となります。感染経路が不明な場合や自宅療養のみで医療機関を受診していない場合でも、まずは労働基準監督署へご相談ください。

【問合せ】▶向島労働基準監督署労災課 ☎5630-1033▶経営支援課経営支援担当 ☎5608-6185

 納付書を送付します
介護保険料

介護保険料を納付書で納めている方へ、10月分～12月分の納付書を10月中旬に送付しますので、各納期限までに納めてください。なお、納付書で納めている方のうち、口座振替による納付への変更を希望する場合は、同封の口座振替依頼書でお申し込みください。

【問合せ】介護保険課資格・保険料担当 ☎5608-6937

ご利用ください

すみだ郷土文化資料館の
地元ボランティアによる展示解説

【とき】▶個人=毎月第3日曜日午後1時～4時▶団体(20人以上)=申込時に調整 **【申込み】**

▶個人=当日直接会場へ▶団体=展示解説希望日の1か月前までに電話で問合せ

先へ **【問合せ】**すみだ郷土文化資料館(向島2-3-5) ☎5619-7034



6年4月入園の園児を募集します
私立幼稚園

[幼稚園の名称・入園願書の配布日等]下表のとおり[申込み]入園願書を直接、入園を希望する幼稚園へ *詳細は各幼稚園へ[問合せ]子ども施設課保育係☎5608-1583

幼稚園の名称	所在地/電話番号	募集園児			入園願書の配布日
		3歳	4歳	5歳	
あさひ幼稚園	文花1-1-10/☎3612-0876	○	-	-	10月17日(火)
あづま幼稚園	文花1-25-7/☎3612-4558	○	-	-	10月16日(月)
江東学園幼稚園	横網1-7-2/☎3625-0644	○	若干名	若干名	10月16日(月)・17日(火)
言問幼稚園	向島5-4-4/☎3622-7771	○	若干名	-	10月16日(月)・17日(火)
墨田幼稚園	堤通1-5-9/☎3611-0740	○	若干名	若干名	10月16日(月) *詳細は同幼稚園のホームページを参照
本所白百合幼稚園	石原4-37-2/☎3622-3376	○	若干名	若干名	10月16日(月)~19日(木)
向島文化幼稚園	八広6-24-6/☎3614-3415	○	若干名	若干名	10月16日(月)・17日(火)
両国幼稚園	両国2-8-10/☎3632-7959	○	若干名	-	10月16日(月)

「私の好きなすみだ」
写真募集!

本紙毎月1日号
8面に掲載

応募方法は問い合わせるか、区ホームページへ!
[問合せ] 広報広聴担当 ☎5608-6223



誰もが心を通わず暮らしやすいまちへ
手話であいさつしよう「ありがとう」

①左手の甲の上に右手を垂直に乗せ、右手だけを上げます。
②頭は軽く下げます。
(東京都「話そう!手のことば」おもてなしの手話BOOK)より

[問合せ] 障害者福祉課庶務係☎5608-6466 FAX5608-6423



講座・教室・催し

内=内容 種=種別 対=対象 定=定員 費=費用・入場料 持=持ち物 申=申込み 問=問合せ

区分	名称	とき	ところ	対象・定員・費用・申込み・問合せ等
暮らし	“ご利用ください”建築・住まいの無料相談	10月20日(金)午後1時~4時 *毎月第3金曜日に実施	区役所1階アトリウム	内 建築の一般的な疑問や増改築などの悩みを東京都建築士事務所協会墨田支部の所属建築士に相談する 申 当日直接会場へ 問 建築指導課構造担当☎5608-1307
	第3回「すみだまちゼミ」	10月21日(土)~11月26日(日) *開催日時等の詳細は墨田区商店街連合会のホームページを参照	区内全域 	内 生活に役立つ知恵をお店の方から学ぶ少人数のミニ講座 費 無料 *講座により材料費がかかる場合あり 申 事前に各店舗へ 問 ▶墨田区商店街連合会☎5608-1111(内線5437) ▶産業振興課産業振興担当☎5608-6187
	聞いてみよう、話してみよう、災害のこと 	10月22日(日)午前10時~午後4時半	すみだリバーサイドホール1階会議室(区役所に併設)	内 液状化・建物振動実験、防災に関するクイズ等を通じて災害について話し合う 費 無料 申 事前に住所・氏名・電話番号を、ファクスまたはEメールで墨田区災害復興支援組織代表 庫川FAX3829-0147・✉kurakawa@sumida-saigai.tokyoへ 問 防災課防災係☎5608-6206
	すみだ女性センター交流サロン「川柳で考える人生100年時代 “百歳百歳みんな百歳!”」	10月23日(月)午前10時~正午	すみだ女性センター(押上2-12-7-111)	対 区内在住在勤在学の方 定 先着10人 費 無料 持 「人生100年時代」をテーマにした川柳2句 申 10月11日午前9時から催し名・住所・氏名・年齢・電話番号を、直接または電話、Eメールで、すみだ女性センター☎5608-1771・✉suzukakekouza@city.sumida.lg.jpへ *詳細は区ホームページを参照 
	“季節感を取り入れた家庭料理を” 吾孺の里 料理教室(全6回)	10月26日、11月30日、12月21日、6年1月25日、2月22日、3月28日いずれも木曜日午前10時~午後1時	八広地域プラザ(八広4-35-17)	対 16歳以上の方 定 先着15人 費 6000円(材料費込み) 持 エプロン、三角巾(またはバンダナ等)、布巾、ハンドタオル 申 事前に八広地域プラザ☎6657-0471へ *受け付けは10月23日までの午前9時~午後8時(10月15・16日を除く)
	食品ロスについて考える料理教室「サルベージクッキング」	11月3日(祝)午前11時~午後1時半	すみだ女性センター(押上2-12-7-111)	内 フードドライブで集まった食品を一部使い、パンケーキと野菜のツナマヨ焼きを作る 対 区内在住の方 定 先着15人 費 無料 持 エプロン、三角巾(またはバンダナ等)、布巾、筆記用具 申 事前に電話で、すみだ清掃事務所☎3613-2229へ *詳細は区ホームページを参照(申込みも可)
	“花の植替え方法を学ぶ”東京スカイツリー周辺の花の植替えボランティアの講習会(花苗を進呈)	11月7日(火)・8日(水)午前10時~正午 *午前9時50分に集合	区総合体育館駐車場東側(錦糸4-15-1) 	対 区内在住在勤在学の方 定 各先着30人 費 無料 持 薄手の手袋、はさみ、エプロン、花苗を持ち帰るための袋 申 事前に環境保全課緑化推進担当(区役所12階)☎5608-6208へ
	すみだと世界をつなぐ水の大切な話 “第2回「江戸と水」歴史を感じるクルーズで水の今と昔を学ぼう!” 	11月11日(土)午後1時~4時 *午後0時50分に集合	吾妻橋船着場(吾妻橋1-23地先)	内 神田川・日本橋川を巡るクルーズの後、「江戸を支えた水」をテーマに江戸時代以降の東京の発展と水の関わりについて話を聞く【講師】長谷川 怜思氏(八千代エンジニアリング株式会社社員) 対 区内在住在勤在学の方 定 30人(抽選) 費 無料 持 筆記用具 申 催し名・住所・氏名・年齢・電話番号を、はがきまたはファクス、Eメールで10月26日(必着)までにNPO法人ウォーターエイドジャパン(〒130-0014 亀沢2-12-11PAX21 301) FAX 050-3488-2040・✉sumida@wateraid.jpへ *抽選結果は後日通知 問 環境保全課環境管理担当☎5608-6207
	吾孺の里 陶芸教室「紐づくりで湯のみをつくろう」(全4回)	11月12・26日、12月10・24日いずれも日曜日午前9時半~午後0時半	八広地域プラザ(八広4-35-17)	内 手びねりで陶器をつくる 定 先着12人 費 4000円 持 雑巾、タオル、筆記用具、エプロン等 *汚れても構わない服装で参加 申 事前に八広地域プラザ☎6657-0471へ *受け付けは11月7日までの午前9時~午後8時(10月15・16日を除く)
	第2回エコライフ講座「都市の水環境を守る!砂町水再生センターを見に行こう」	11月15日(水)午後1時10分~5時 *午後1時に区役所1階正面玄関前に集合	砂町水再生センター(江東区新砂3-9-1) *往復バスで移動	内 下水がきれいになる仕組みを学ぶ 対 区内在住在勤在学の方 定 20人(抽選) 費 無料 申 講座名・住所・氏名・年齢・電話番号・ファクス番号・Eメールアドレスを、ファクスまたはEメールで10月25日までに環境保全課環境管理担当☎5608-6207・FAX5608-1452・✉kankyuu@city.sumida.lg.jpへ *抽選結果は後日通知
福祉健康 スマートフォンの疑問や不安についての相談会 	10月12日~11月30日の木曜日▶午前の部=午前9時半~正午 ▶午後の部=午後1時半~4時 *11月23日を除く *相談時間は30分(30分ごとに受け付け)	区役所1階区民相談コーナー *10月19日は、すみだ生涯学習センター(東向島2-38-7)でも実施	対 60歳以上の方 定 各先着2人 費 無料 申 当日直接会場へ 問 ▶高齢者福祉課支援係☎5608-6168 ▶スマートフォン普及啓発事業事務局☎050-5536-6049 *受け付けは月曜日~金曜日の午前9時~午後5時(祝日を除く)	

☎=電話 FAX=ファクス ✉=Eメール 🏠=ホームページアドレス

お知らせ 【油・断・快適!】下水道に油を流さないでね!油汚れは洗う前にふきとりましょう。 東部第一下水道事務所☎3645-9647

チーム江戸

古くから受け継がれている 江戸切子の歴史

すみだ江戸切子館(太平2-10-9)

【開館時間】午前10時～午後5時 *日・月曜日、
年末年始は休館 *休館日や体験等の
詳細は、すみだ江戸切子館のホーム
ページを参照

お話を
伺いましたセールスマネージャー
門脇弘典さん

職人の“ヒミツ”に迫る！

江戸切子ってなあ～に？

1800年代(江戸時代後期)に生産が始まった伝統工芸品です。透明なガラスの外側を、赤や紺などの色のついたガラスが覆い、2層構造になっています。ガラス表面を削ることで出てくる透明な部分が、きれいな紋様になります。実はこの紋様には、様々な願いが込められているんです。職人が生み出す紋様の美しさに加え、その奥深さから、国内外を問わず人気のある伝統工芸品です。



伝統的な紋様

江戸切子に刻まれる紋様には、様々な種類があります。例えば、竹籠の八角網目を連続させ、魔除けとして使われた紋様の「八角籠目紋様」や、円の円周を1/4ずつ重ねてつないだ連続紋様が使われる「七宝紋様」などがあります。江戸切子の生産が始まった頃から使われる伝統的な紋様は、10種類を超えるそうです。さらに、紋様のアレンジやオリジナルを含めると、無数にあるそうです。



▶八角籠目紋様

▶七宝紋様

制作で使用する機械

江戸切子を削るときは「ダイヤモンドホイール」という機械を使用します。この機械は、効率よくガラスを削れる道具のため、制作には欠かせないものです。江戸切子の生産が始まった1800年頃は、やすりや金棒を使用してガラスを削っていたそうですが、後にダイヤモンドホイールの原型となる鉄製円盤の使用が始まったといわれています。



レアな職業「江戸切子職人」

すみだマイスターの川井更造さんは、知人の紹介によって江戸切子職人という職業に出会い、求人広告であまり見かけない“レアな”職種のため、この仕事にチャレンジしようと思い興味を持ったそうです。職人は誰もが簡単にできる職業ではありませんよね。

また、“職人”という職業を人に説明したときに、応援や尊敬をされるそうです。また、職種がイメージしやすいため、職業を説明するときに江戸切子職人になって良かったと感じるそうです。



川井更造さん

楽しいが苦労もある

川井さんが江戸切子職人として感じる一番のやりがいは、自分にしか作れない紋様や作品に対して、価値を付けてもらえることだそうです。江戸切子の作品は、一つひとつ手作りで繊細なため、唯一無二の“匠の技”が必要となります。もちろん楽しいだけではない一方で、「体で覚える仕事のため、すぐに結果が出ず続けることがとても大変」なのだそうです。



全ては手作業で

江戸切子の魅力を尋ねると、江戸切子の素となるガラス素材の制作から最後の作業まで、全て手作業で行っていることだと言います。この手間によって、より美しい江戸切子が誕生するそうです。また、派手な“装飾美”ではなく、日常使いできる“機能美”があることも、魅力だと教えてくれました。今後は、今まで培ってきた経験や知識、先人の教えを、次世代の職人へ伝えたいと意気込みます。



江戸切子の魅力を、体験や職人の作業風景などから、ぜひ、感じてほしい、と話していました。

体験
取材記

職人になってみた!!

削り出し作業を体験！



削り出し作業

体験は、削る場所をペン等でガラス素材に下書きをする「削り出し作業」から始まります。その作業が終わったら、下書きに沿ってダイヤモンドホイールでガラスを削る「削り出し作業」に進みます。削り出し作業は、本来なら荒削り、二番掛け、石掛けと工程を重ねますが、今回は体験なので一度で仕上げます。削り出し作業で書いたペンの跡を拭いて体験はおしまい。



削り出し作業



拭き作業

本来は、この後に「磨き作業」を行い、緻密で光沢のある切子紋様が完成します。

感想は…やっぱり難しい！

今回の体験で、職人のすごさがよく分かりました。今までは何気なく江戸切子を眺めていましたが、江戸切子の美しさは職人の努力の結晶であり、緻密な模様は職人それぞれの個性を刻んでいることも知りました。

実際に体験してみて、思うようにまっすぐ削ることが難しかったです。とても楽しかったです。江戸切子の基本的な技術の習得には、5年～10年かかると言います。また、時代やお客さんの需要など、その変化に合わせた商品を作り続ける必要があります。終わりはなくとも。



今回制作した江戸切子

同館の販売スペースからは、隣の作業場をガラス越しにのぞけ、職人の皆さんの作業



風景を見学できます。職人の皆さんは黙々と作業を続けており、繊細な紋様を一つひとつ丁寧に削っていました。体験中は、集中力が長く続きませんでした。職人の皆さんは、集中力を切らさず作業をしていました。体験をしたからこそ、なおさらその姿がすごいことだと感じました。

これからは、私たちのような若い人にも、伝統工芸の魅力を広めていきたいと思いました。



最後にみんなで記念撮影！

チーム水球

葛飾北斎の一生



お話を伺いました
学芸員
山内真穂さん

すみだ北斎美術館(亀沢2-7-2)

[入館時間]午前9時半~午後5時半 *入館は午後5時まで *月曜日は休館[入館料(常設展)]▶一般=400円 ▶高校生・大学生・65歳以上の方=300円 ▶中学生以下・障害のある方=無料 *企画展の入館料は、企画展ごとに異なる(詳細は、すみだ北斎美術館のホームページを参照) *今号記載の作品は、全てすみだ北斎美術館所蔵



北斎が描く絵の変化

北斎と言えば風景版画のイメージが強いですが、70年の画家人生の間に何度もテーマや画風が変化しています。その一部をご紹介します。

■19歳~34歳

浮世絵界にデビューした20歳頃は、「錦絵」(多色摺木版画)で、役者絵や美人画、子ども絵、名所絵など多種多様な画題を描いています。

■35歳~44歳

画風が一変し、当時の北斎の画号「宗理」から、「宗理風美人」と呼ばれる美人画をたくさん描きます。色白で細身、目や口は小さく鼻はすらりとした「うりざね顔」の



▶巳待

美人顔が特徴です。またこの頃の作品では、西洋の透視遠近法に学んだ洋風風景版画を多く生み出しています。

■45歳~52歳

ついに、葛飾北斎と名乗るようになります。この頃は、長編小説の挿絵制作に注力します。今までなかった奇抜な構図などの挿絵で、「絵入り読本が大流行した」と当時の記録にあるほどです。そのほか、この時期は挿絵以外にも多くの作品が残されており、精力的に活動していたことがうかがえます。



▶「新板 飛騨匠物語」巻之四

■53歳~70歳

絵手本「北斎漫画」、いわゆるスケッチ画集のようなものの制作に取り組みます。海外で

は「HOKUSAI SKETCH」と呼ばれて世界中で人気です。

■71歳~74歳

「富嶽三十六景」が発表されます。今では日本のアイデンティティといえるほどの傑作です。本作品は、富士



▶富嶽三十六景 甲州三坂水面

■75歳以降

主に肉筆画を描くようになり、動植物や古典、故事、宗教的な題材が多くなります。これまでに北斎が培った多彩な表現技法を余すことなく取り入れた作品が生まれています。

北斎という人物・こだわりに迫る!

北斎はどんな人物だった?

北斎は、とにかく幼少期から絵を描くことに熱中し、浮世絵師となってからも絵の道一筋。中国や西洋の絵画も学び多くの技法を取り入れて絵を描き続ける一方、人気が出てからも生涯自分の絵に満足することはなかったそうです。また、絵を描くこと以外は無頓着で、部屋はとて汚く、お金の枚数も数えず包みをポンと投げて渡すなど、とにかく絵を描くことだけに集中し、変わり者と言われながらも描き続ける、絵に対する北斎の探究心が伝わってきました。北斎の様々なエピソードは「葛飾北斎伝」という伝記に書かれているので、ぜひ読んでほしいです。また、館内には、北斎のアトリエの様子を再現した模型があり、当時の様子が精巧に再現されています。



▶北斎のアトリエの再現模型

行きつけの場所や大切にしていたもの

引っ越しを90回以上も繰り返したといわれる北斎にも、行きつけの場所があったそうです。そのうちの1つが業平にある「柳島妙見山法性寺」です。ここは北斎が信仰していた寺として有名で、柳島妙見山法性寺の境内にある「妙見堂」を題材とした作品もあります。

また、江戸時代は火事が多かったそうで、北斎と娘のお栄は、絵筆1本のみを持って避難したという話が伝わるそうです。愛用していた絵筆を、まるで魂のようにとて大切にしていたことが感じ取れますね。

作品はどのように受け継がれてきた?

現在、私たちが鑑賞できる北斎の作品は、国内外のファンや、門人(弟子)がその魅力に惹かれ、200年以上大切に保管し続けられてきたものがほとんどだそうです。

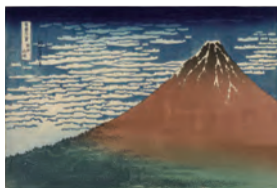
北斎自身が亡くなってからも、大切な人へと受け継がれ、多くの人の「ずっと大切に残したい」という強い想いで今も残る作品たち。しかし、想いだけで引き継ぐことは難しく、かびや虫、紙の破損等を防ぐため、明かりの調整、湿度や温度の管理が重要と伺いました。美術館が薄暗くフラッシュ禁止なのは、こういう理由があったんですね。作品に関わる方の愛情や想いがあるからこそ、200年の時を経ても多くの作品と出会えることに感動しました。



AURORA(常設展示室)
「絵手本の世界」

富士と言えば北斎

北斎は「富嶽三十六景」で美しい46の富士図を描いています。ちょうどその頃、江戸では「富士講」という山岳信仰が大流行。富士講とは「富士を拝み、富士山霊に帰依し心願を唱え、報恩感謝する」という教えが庶民に広まったものです。この流行がきっかけで、北斎の描く富士山も大ヒットしたようです。構図の面白



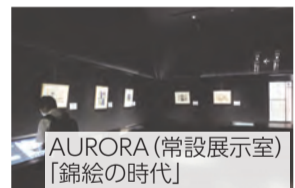
▶富嶽三十六景 凱風快晴

さ、創意工夫に満ちた絵に人々は魅了され、「北斎といえば富士、富士といえば北斎」といわれるほどになりました。

生涯こだわり続けた水の表現

北斎が生涯こだわり続けたモチーフが、水の表現です。「神奈川沖浪裏」ではリアルな波しぶきが印象的で、「富嶽三十六景」のあとに出版された「諸国瀧廻り」では、日本各地の滝8図が描かれており、北斎の様々な水の表現が見られます。「水の激しさ」「静かな流れ」「とどまる水」。ビデオのスロー再生がない時代の中、まさに変幻自在な水が、様々な技法で表現されています。

同館では、平成30年に水の絵だけを集めた企画展「変幻自在!北斎のウォーターワールド」を開催したそうです。北斎が、いかに多くの水に関する作品を描いたかがうかがえますね。



AURORA(常設展示室)
「錦絵の時代」

取材を終えて

北斎の芸術は、世界的に高く評価されており、多くの芸術家に影響を与えています。私たちは、日本に生まれた北斎の作品を通して、美しさや感性を共有できます。北斎の芸術が未来にも継承されるよう、私たちもその作品を大切にしながら取り組んでいきます。



最後にみんなで記念撮影!

講座・教室・催し

内=内容 種=種別 対=対象 定=定員 費=費用・入場料 持=持ち物 申=申込み 問=問合せ



Table with columns: 区分, 名称, とき, ところ, 対象・定員・費用・申込み・問合せ等. Rows include health/welfare events (健康・福祉) and childcare/education events (子育て・教育).

健康・福祉

子育て・教育

講座・教室・催し

内=内容 種=種別 対=対象 定=定員 費=費用・入場料 持=持ち物 申=申込み 問=問合せ



Table with 5 columns: 区分 (Category), 名称 (Title), とき (Time), ところ (Location), 対象・定員・費用・申込み・問合せ等 (Details). Rows include water swimming classes, parenting lectures, nature observation, seminars, food safety, career counseling, exhibitions, sports, and art events.

☎=電話 FAX=ファクス ㊚=Eメール 🌐=ホームページアドレス

お知らせ 区公式LINEの友だち募集中! 本紙8面下部のコードを読み取り、ぜひ、「友だち追加」を! [問合せ] 広報広聴担当 ☎5608-6220

講座・教室・催し

内 = 内容 種 = 種別 対 = 対象 定 = 定員 費 = 費用・入場料 持 = 持ち物 申 = 申込み 問 = 問合せ

区分	名称	とき	ところ	対象・定員・費用・申込み・問合せ等
イベント	読書週間特集展示「図書館員が選ぶおすすめの本」	10月20日(金)~12月20日(水)の開館時間中	ひきふね図書館(京島1-36-5)	費無料 申期間中、直接会場へ 問ひきふね図書館☎5655-2350
	継創“ツギヅクリ” in SUMIDA フェスティバル	10月21日(土)・22日(日) 午前10時~午後4時	隅田公園そよ風ひろば(向島1-3)	内 区内にゆかりのあるものづくり事業者の活動紹介、製品販売等 費無料 *購入費は自己負担 申期間中、直接会場へ 問▶産業振興課産業振興担当☎5608-1437 ▶It's実行委員会事務局✉tugizukuri@gmail.com
	第38回すみだボランティアまつり	10月29日(日)午前10時半~午後2時	押上小学校(押上3-46-17)	内 ボランティア活動体験、模擬店など 費無料 *購入費は自己負担 申当日直接会場へ 問すみだボランティアセンター☎3612-2940 *車・自転車の来場不可
	すみっこまちコラボ墨田区周遊スタンプラリー			
	▶スタンプラリー	11月1日(水)~12月28日(木)	【台紙の配付場所】▶両国観光案内所(JR両国駅「-両国-江戸NOREN」1階)▶観光課(区役所14階)	内 スタンプラリー台紙に書かれた5つの「すみっこポイント」を巡り、スタンプを集める *スタンプを全て集めた方にはオリジナル缶バッジを進呈(先着3000人/交換は12月28日までに台紙の配付場所へ) 費無料 申期間中、直接台紙の配付場所へ *受け付けは▶両国観光案内所=午前10時~午後6時▶観光課=午前8時半~午後5時 問 観光課観光担当☎5608-6500
	▶すみっこまちPR大使“ぺんぎん?”によるスタンプラリー応援イベント	11月11日(土)▶午前10時半~▶正午~▶午後1時半 *時間はいずれも10分程度	JR両国駅「-両国-江戸NOREN」(横網1-3-20)	費無料 申当日直接会場へ *会場内の混雑回避のため、入場制限を行う場合あり 問 観光課観光担当☎5608-6500
みどりの亀戸愛楽亭(落語会)	11月19日(日)午後1時半~ *開場は午後1時	みどりコミュニティセンター(緑3-7-3)	定 先着60人 費無料 申当日直接会場へ 問みどりコミュニティセンター☎5600-5811	
けっとぼ	いけばな体験を希望する親子を募集します「池坊東京中央橋会創立100周年記念花展」	10月21日(土)・22日(日) 午後2時~3時	すみだ産業会館(江東橋3-9-10)	対 15歳以下の子どもとその保護者(2人1組) 定 各先着10組 費無料 申 参加者の氏名・子どもの年齢・電話番号を、電話またはEメールで池坊東京中央橋会 団野☎090-5769-1400・✉t.danno6125@gmail.comへ

は〜もに〜 トリフォニーホール(錦糸1-2-3)おすすめ公演情報

トリフォニーホールチケットセンター ☎5608-1212・錦糸1-2-3

事前に、すみだトリフォニーホールのホームページで「ご来館される皆さまへのご案内」をご確認ください。

ピアノ演奏と映像作品のコラボレーション!
Echoes Of Life
アリス=紗良・オット ピアノ・リサイタル

【とき】11月30日(木)午後7時開演 *約70分(休憩なし)
【曲目】ショパン/24の前奏曲 Op.28(全曲)ほか *ハカン・デミレル(建築家)による映像演出あり【入場料(全席指定)】▶SS席=1万2000円▶S席=9000円▶A席=6000円 *学生席あり *区内在住在勤の方は▶S席=8000円▶A席=5000円



アリス=紗良・オット ©Pascal Albandopulos/DG

宇宙のような無限の広がりを感じさせる楽曲を体験する特別企画!
究極のゴルトベルク ヴィキングル・オラフソン+清水靖晃&サキソフォネッツ

【とき】12月3日(日)午後2時開演【出演】ヴィキングル・オラフソン(ピアノ)、清水靖晃(テナー・サクソフォン)、サキソフォネッツ/林田祐和・田中拓也・東 涼太・鈴木広志(サクソフォン)、佐々木 大輔・中村尚子・高橋直人・出町芽生(コントラバス)
【曲目】▶第1部(ヴィキングル・オラフソン)=J.S.バッハ/ゴルトベルク変奏曲BWV988(全曲)▶第2部(清水靖晃&サキソフォネッツ)=J.S.バッハ/ゴルトベルク変奏曲BWV988(清水靖晃編曲、5サクソフォン・4コントラバス版)
【入場料(全席指定)】▶S席=8000円▶A席=7000円▶B席=6000円▶U25席=2000円 *区内在住在勤の方は▶S席=7500円▶A席=6500円▶B席=5500円



ヴィキングル・オラフソン ©Markus Jans



清水靖晃 ©Yasuo Konishi

北斎を知る

最新情報は、各ホームページをご覧ください。
【問合せ】文化芸術振興課文化芸術担当☎5608-6115



すみだ北斎美術館(亀沢2-7-2)で開催中の「北斎のまく笑いの種」展の前期の見所をご紹介します。

葛飾北斎「風流おどけ百句 炎天にすべるを見れば瓜の皮」(錦絵)

風流おどけ百句は、人物の手足を異様に細長く、目は黒丸など滑稽に描く鳥羽絵形式で、画中に記された狂句のイメージを絵画化した横小判のシリーズです。本図は、路面が凍る冬ではなく、真夏に滑っている人がいると思ったら、瓜の皮が原因だったという狂句を題材にしています。ここでは、瓜を売る人と食べる人の目の前で、転んでいる人物が描かれています。現在でも、バナナの皮で滑って転ぶなど似た発想がありますが、皮で滑って転ぶ状況は北斎の時代から面白がられていたようです。本図は「北斎のまく笑いの種」展の通期で展示しています(前後期で一部展示替えあり)。

【とき】11月26日(日)までの午前9時半~午後5時半 *入館は午後5時まで
【入館料】▶一般=1000円▶高校生・大学生・65歳以上の方=700円▶中学生・障害のある方=300円▶小学生以下=無料【問合せ】すみだ北斎美術館☎6658-8936 *詳細は、すみだ北斎美術館のホームページを参照



すみゆめ通信

鎮魂の盆踊りとあぶり出し絵、「隅田川 百歳の瀬」開催します!

関東大震災の記憶を残す隅田公園のそよ風ひろばに櫓を設けて、生演奏による盆踊りを中心とする「すみゆめ踊行列」を10月28日に開催します。多彩な歌手とバンドによる耳馴染みある音頭に合わせて、みんなで輪になって踊りましょう。あわせて牛嶋神社では、北斎が疫病退散を祈念して絵馬を奉納したことになんて、隅田川の水で描くあぶり出し絵「天宇受売命再生乃図」を10月22日から神楽殿に展示します。魂を揺さぶる踊りで天照大神を誘い出した天宇受売命が芸能と鎮魂の神であることから、災厄からの再生を願う作品です。100年前から今日に至る祈りと希望を感じてみませんか。

【とき/ところ】▶あぶり出し絵=10月22日(日)~28日(土)の午前9時半~午後4時半/牛嶋神社(向島1-4-5)▶すみゆめ踊行列=10月28日(土)午後2時~8時/隅田公園そよ風ひろば(向島1-3) *雨天時は会場等変更の場合あり【問合せ】「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会事務局☎5608-5446

